

主日礼拝

2024年11月03日
午前10時30分

前奏 「いつくしみ深き」(D.ウッド)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」 (ヨハネによる福音書 11:25,26)

頌栄 26「グロリア」



グロリア グロリア グロリア ち ちと み子に
グロリア グロリア グロリア せいなる 霊 に

リタニー 「聖徒の日のリタニー」

司式者：神さまは、いのちをくださった。
 みんな：神さま、いのちをありがとう。
 司式者：いつか私たちは、
 神さまのところに、帰っていきます。
 みんな：どうぞ、神さま、お守りください。
 司式者：亡くなった人も、今、ここにいる私たちも
 みんな：神さまに守られてひとつです。
 司式者：声をあわせて、賛美しましょう。
 一緒に：神さま、あなたこそ、私たちのいのちです。
 アーメン

賛美 533「どんなときでも」

詞：高橋順子，1959-1967 曲：高浪晋一，1941-



1.2 どんなときでも、どんなときでも
 1 くるしみにまけず、くじけてはならない。
 2 しあわせをのぞみ、くじけてはならない。▶
 イエスさまの、イエスさまのあいをしんじて。
 ▶ イエスさまの、イエスさまのあいがあるから。

1 どんなときでも、どんなときでも くるしみにまけず、くじけてはならない。 イエスさまの、イエスさまの 愛を信じて。	2 どんなときでも、どんなときでも しあわせをのぞみ、くじけてはならない。 イエスさまの、イエスさまの 愛があるから。
---	--

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
 ねがわくは み名をあげさせたまえ。
 み国を来らせたまえ。
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ。
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
 我らの罪をもゆるしたまえ。
 我らをこころみにあわせず、
 悪より救い出されたまえ。
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
 なればなり。
 アーメン。

賛美 39-5 (2回)「ハレルヤ」



ハレルヤー、ハレルヤ、
ハレルヤー、ハレルヤ。

聖書 ローマの信徒への手紙 8:31~39

新約(新共同訳)P285~P286

31では、これらのことについて何と言ったらよいだろうか。もし神がわたしたちの味方であるならば、だれがわたしたちに敵対できますか。32わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか。33だれが神に選ばれた者たちを訴えるでしょう。人を義としてくださるのは神なのです。34だれがわたしたちを罪に定めることができましょう。死んだ方、否、むしろ、復活させられた方であるキリスト・イエスが、神の右に座っていて、わたしたちのために執り成してくださるのです。35だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができましょう。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。
 36「わたしたちは、あなたのために
 一日中死にさらされ、
 屠られる羊のように見られている」
 と書いてあるとおりです。37しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛してくださる方によって輝かしい勝利を収めています。38わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のもものも、未来のもものも、力あるものも、39高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。

賛美 I 312 「いつくしみふかき」

What a Friend we have in Jesus
Joseph Scriven, c. 1855

WHAT A FRIEND
Charles Crozat Converse, 1868

い つく し み ふ か き と も な る イ エ ス は
つ み と が う れ い を と り さ り た も う (お)
こ こ ろ の な げ き を つ つ ま ず の べ て
な ど か は お ろ さ ぬ お え る お も に を

- 1
いつくしみ深き 友なるイエスは、
罪とが憂いを取り去りたもう。
こころの嘆きを包まず述べて、
などかは下さぬ、負える重荷を。
- 2
いつくしみ深き 友なるイエスは、
われらの弱さを知りて憐む。
悩みかなしみに沈めるときも、
祈りにこたえて慰めたまわん。
- 3
いつくしみ深き 友なるイエスは、
かわらぬ愛もて導きたもう。
世の友われらを棄て去るときも、
祈りにこたえて 労りたまわん。

説教 「神に結ばれる生き方」

賛美 575 「球根の中には」

In the bulb there is a flower
詞：Natalie Sleeth, 1930—1992

PROMISE
曲：Natalie Sleeth, 1930—1992

1 きゅうごん の なか に は はな が ひめられ、
2 ちんも くはやが てうたに かえられ、
3 いのち のおわり はいのちのはじめ。
さなぎのなかからいのちはばたく。
ふかいやみのなかよあけちかづく。
おそれしんこうに、死はふつつに、
さむいふゆのなかはるはめざめる。
すぎさったときがみらいをひらく。
ついにかえられるえいえんのあさ。
1-3 その日、そのときをただかみがしる。

- 1 球根の中には 花が秘められ、
さなぎの中から いのちはばたく。
寒い冬の中 春はめざめる。
その日、そのときを ただ神が知る。
- 2 沈黙はやがて 歌に変えられ、
深い闇の中 夜明け近く。
過ぎ去った時が 未来を拓く。
その日、そのときを ただ神が知る。
- 3 いのちの終わりは いのちの始め。
おそれは信仰に、死は復活に、
ついに変えられる 永遠の朝。
その日、そのときを ただ神が知る。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「球根の中には」

(J.ファーガソン&J.カーター)

司式 光成 由樹
説教 向井 希夫 牧師
奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。